

平成25年2月

袋井市議会定例会

一般質問通告内容

袋井市議会

**＝本会議インターネット放映のお知らせ＝**

本会議の様子が、自宅のパソコンで見ることができます。

袋井市のホームページに接続し、袋井市議会のコンテンツの中に「袋井市議会のインターネット中継」があります。ホームページアドレスは、次のとおりです。

袋井市 <http://www.city.fukuroi.shizuoka.jp>

袋井市議会（インターネット中継）

<http://dvlsv.city.fukuroi.shizuoka.jp/view/2.html>

●傍聴者の皆様へ：携帯電話はマナーモードに切り替えをお願いします。

## 一般質問通告議員

3月5日（火）

【午前質問予定の議員】

質問順序

ページ

1番 村 松 尚 議員 …… 1

2番 永 田 勝 美 議員 …… 2

3番 寺 田 守 議員 …… 3

【午後質問予定の議員】

4番 高 橋 美 博 議員 …… 4

5番 兼 子 春 治 議員 …… 5

6番 廣 岡 英 一 議員 …… 7

3月6日（水）

【午前質問予定の議員】

質問順序

ページ

7番 浅 田 二 郎 議員 …… 8

8番 高 木 清 隆 議員 …… 9

9番 戸 塚 文 彦 議員 …… 11

【午後質問予定の議員】

10番 山 田 貴 子 議員 …… 12

質問順序	1	議席番号	1	質問者	村 松 尚
質問事項・要旨（具体的な質問事項）					
<b>1</b>	<b>まちづくりについて</b>  合併後、新市誕生から8年が経過して、今後のまちづくりの方向性をどのように考えているのか。 (1) 人口減少社会に向け、当局の対策は。 (2) 少子高齢化に向けて、子育て支援に対する対策は。 (3) 雇用の確保（企業誘致）の考え方は。 (4) 南部地域の津波被害不安に対する住民への対策は。 (5) 歩行者、自転車利用者への交通安全対策は。				
<b>2</b>	<b>総合体育館の整備について</b>  築後40年が経過しようとしている市民体育館の建て替えについて、当局はどのように考えていくのか。 (1) 総合体育館整備構想策定事業に予算が計上されたが、今後の計画はどのようなになるのか。				
<b>3</b>	<b>市民の声から</b>  時代と共に変化している社会構造の中で、市民の考え方も変化している。様々な声が聞こえてきます。当局の対応はどうか。 (1) バイパス高架下の利活用について (2) 市道上久能鷺巣線の開通による信号機設置について (3) 市役所駐車場の立体化（市民サービスの観点から）について				

質問順序	2	議席番号	20	質問者	永田勝美
質問事項・要旨（具体的な質問事項）					
1	<p><b>政治姿勢</b></p> <p>(1) 内陸フロンティア構想について</p> <p>ア 取り組み、申請の背景は。</p> <p>イ 先導的地域づくりモデル対象区域となった袋井市北部・南部地域の構想はどのようなものか。</p> <p>ウ 磐田市・袋井市・吉田町の海岸地域での都市部のリノベーションモデルの創出とはどのようなことか。</p> <p>エ 海岸地域での企業移転誘導は、さらなる不安を高め、地域経済を後退させないか。</p> <p>オ 企業と地域とは家族と考える。残される地域住民の対策をどのように考えるか。</p> <p>カ 海岸地域のモデル対象地域は、地元の了解はあるか。</p> <p>キ 企業誘致の経過から、移転でなく安全対策が行政責任と考えるが。</p> <p>ク 移転でない構想とすべきでは。海岸地域のモデルから外すべきと考えるが。</p> <p>(2) 特別職報酬審議会答申について</p> <p>ア 諮問の背景は。</p> <p>イ 答申内容は、どのように評価しているか。</p> <p>ウ 審議会の性格上、答申を尊重すべきと考えるが。</p> <p>(3) 定員適正化計画と市民サービスについて</p> <p>ア 適正化の基準と今後の削減計画は。</p> <p>イ 現在の正規職員・非常勤嘱託職員・臨時職員数は。</p> <p>ウ 過去5年間の年度別の非常勤嘱託職員数は。</p> <p>エ 前年度の非常勤嘱託職員の人件費の伸びは5%であった。本年度はどうか。</p> <p>オ 正規職員の削減が市民サービスの低下になっていないか。</p>				

質問順序	3	議席番号	6	質問者	寺田守
質問事項・要旨（具体的な質問事項）					
<b>1</b>	<p><b>子育て支援体制</b></p> <p>当市は少子化が進んでいる中で、年少人口の割合も高く、出生率も県内トップクラスであるが、子育て支援施設である認可保育所、放課後児童クラブの現状について伺う。</p> <p>(1) 平成24年度の施政方針の中で保育所の充足について触れ、今年度中に「待機児童の課題は、ほぼ解消されるのではないかと期待しております。」と述べているが、年度末を迎え現在の状況はどうか。</p> <p>(2) 待機児童の解消には通園の距離や時間を考慮し、利用しやすい環境を整備することも必要である。現状の認可保育所の配置は適当で充足されているのか。</p> <p>(3) 保育園児の増加と共に、放課後児童クラブを利用する児童が増えている。現状の受け入れ体制は十分か、将来的な予測をどのように見ているか。</p> <p>(4) 現状の施設で、立地面から問題を抱えている施設がある。駐車スペース、周辺住民への配慮から改善を図る必要があるが、対策は検討されているか。</p> <p>(5) 今後、児童一人当たりの施設のスペース、屋外遊び場の確保、静養スペースなど施設の充実が求められるが、検討はされているか。</p>				
<b>2</b>	<p><b>シニアクラブの活性化</b></p> <p>老人クラブの単位老人クラブ数、会員数の減少傾向が続いている。県は、老人クラブの名称にシニアクラブと言う愛称を設け、立て直しを図ろうとしているが、市の対応について伺う。</p> <p>(1) 単位老人クラブ数が減少する要因の一つに、クラブ役員選出の難しさを指摘する声がある。役員選出時の支援体制は検討されているか。</p> <p>(2) 会員数が減少する要因に、新たに加入年齢を迎えた方の新規入会の減少が指摘される。入会者の勧誘に、市はどのような取り組みをしているか。</p> <p>(3) クラブ入会者と非入会者との交流が少ないことも会員の減少につながっているとの指摘もある。クラブの枠を超えた高齢者を対象とした交流の場を設ける考えはあるか。</p>				
<b>3</b>	<p><b>クラウンメロンマラソンへの対応</b></p> <p>マラソンブームもあって、今や各市の大会は市を発信する一大イベントになっている。当市のクラウンメロンマラソンに対する期待、今後の対応について伺う。</p> <p>(1) コースに設定されている道路は、狭い箇所もあり坂道も多い。応援も多くできないとあってランナーの満足を得られていない。シティーマラソンにふさわしいコースを選択したいが、市の協力は得られるか。</p> <p>(2) マラソンは、単にスポーツの大会ではなく、市の観光や産業を売り出す絶好の機会となっている。市としてどのような協力と支援を考えているか。</p>				

質問順序	4	議席番号	18	質問者	高橋美博
質問事項・要旨（具体的な質問事項）					
<b>1</b>	<b>定員適正化計画について</b> <p>行政改革を主眼に正規職員の大幅削減を目指して定数管理を実施してきたが、その目標は妥当であったか伺う。</p> <p>(1) 定員適正化計画に基づく過度な職員数削減で、年齢構成のアンバランス、継続性、スキルの維持など問題が出ていないか。</p> <p>(2) 定年退職者に加え、勸奨や自己都合退職者が多いが、その理由をどう考えるか。職場環境に問題はないのか。</p> <p>(3) 合併時、職員の専門性が高まると説明したが結果はどうか。スキル向上のために人事配置に配慮されたか。</p> <p>(4) 正規職員の削減は進んだが、非常勤嘱託職員や臨時的任用職員が大幅に増えている。その要員は何か。</p> <p>(5) 正規職員数だけにとらわれず、総人件費で捉えるべきと考えるが、比較検討はされているか。</p>				
<b>2</b>	<b>技術職員の配置について</b> <p>市民サービスの維持には、技術職員の確保は欠かせないと考える。補充は十分か。適正な配置となっているか伺う。</p> <p>(1) 技術職員の配置は、どのような方針により行われているか。</p> <p>(2) 専門職の採用は枠を設けて計画的に進めるべきではないか。</p> <p>(3) 幼稚園教員・保育士の非常勤職員の確保が難しくなっていると聞くが、実態はどうか。</p> <p>(4) 園の安定的運営には、正規職員数を増やすことが必要ではないか。</p>				
<b>3</b>	<b>技能労務職員について</b> <p>技能労務職員の補充がなされず、事業継続に問題が出ている。今後の方針を伺う。</p> <p>(1) 土木・水道など現業職員の仕事は、重要な市民サービスを担っている。「新規採用はしない」との合併時の方針を見直すべきではないか。</p>				
<b>4</b>	<b>交通安全対策について</b> <p>(1) 磐田用水のフェンスにより、見通しの悪い交差点が各所にある。磐田用水東部土地改良区任せとせず、市で改良工事ができないか。</p>				

質問順序	5	議席番号	9	質問者	兼子 春治
質問事項・要旨（具体的な質問事項）					
<b>1 地震対策について</b>	<p>本市は災害に強いまちづくりを目指し、防災対策を進めている。国の南海トラフ巨大地震を想定した津波高が公表されたが、この津波高をどのように捉え、防災対策にどう反映していくか。</p> <p>(1) 津波高想定値11.4メートルが10メートルとなったことをどう捉えているか。 また今までの計画を見直す考えはあるか。</p> <p>(2) 本市の地震対策は、県の第4次被害想定を根拠に進められるべきと思われるがいかがか。第4次被害想定の数値をどのように予測しているか。</p> <p>(3) 平成の命山・避難タワーの建設について、県の被害想定を待たずに進めているが。 ア 他の自治体での対策はどうか。 イ 命山・避難タワーの建設は、津波が防潮堤を乗り越える事を想定しているのか。 ウ 命山は最終的に何基造るのか。</p> <p>(4) 浅羽地域の安全性の確保と強調について ア 東日本大震災後、浅羽の地価・農地転用の件数・アパートの入居状況が下がっていると仄聞するが、実態はどうか。 イ 命山・避難タワーの建設は必要であるが、地域の安全性の強調とは矛盾を感じるが。</p> <p>(5) 津波浸水域1.7平方キロメートルの対策は。</p> <p>(6) 防潮堤の整備について ア 津波対策は、基本的には防潮堤の整備にあると思うがどう考えるか。 イ 県にどのように要請していくのか。</p>				
<b>2 高齢者介護について</b>	<p>介護保険制度が発足して12年が経ち、社会全体で高齢者を支える体制が整ったが、現実には、施設に入所できない。家族の経済的負担が大きいとの声がある。介護保険制度を維持していくためには、居宅サービスを増やしていくことが必要と思われるがいかがか。</p> <p>(1) 現在、特別養護老人ホーム等の待機者はどうなっているか。また入所の待ち期間はどれくらいか。</p> <p>(2) 施設に入所するための経費はどれくらいか。</p> <p>(3) 国保の高額療養費支給のような制度はあるか。</p> <p>(4) 施設サービスに頼らず、居宅介護サービスを充実していくことが必要と思われるがいかがか。そのためには24時間定期巡回型サービスを普及すべきと考えるがいかがか。</p>				

質問順序	5	議席番号	9	質問者	兼子春治
質問事項・要旨（具体的な質問事項）					
<b>3</b>	<b>高齢者の交通手段の確保について</b>  高齢者の交通手段の確保については、自主運行バス・地域協働運行バスにて対応している。三川については、試行運転を始め、会員の自宅に迎えに行くといわれるが。 (1) フーちゃん号・メローバスの利用実績は。 (2) 浅羽東の地域協働運行バスの運行形態と利用実績は。 (3) 三川地区の地域協働運行バスの試行形態と利用実績は。 (4) 地域協働運行バスの運行形態は統一する必要はないか。 (5) 自主運行バスとの関係は。また今後の展開は。				



質問順序	6	議席番号	3	質問者	廣岡英一
質問事項・要旨（具体的な質問事項）					
1	<p><b>津波対策と地域づくり</b></p> <p>東日本大震災以来、本市では国や県の新たな被害想定を待つことなく、津波対策、液状化対策、地域防災計画の見直しなどが進んでいる。しかし、浅羽南地区住民が逃げられる避難場所づくりは道半ば、財産を守る対策はこれからであり、人口流出などの地域力低下が起り始めている。南海トラフ地震は、被害想定や対策を待って襲ってくるわけではない。そこで、現状の進み具合を総括しつつ、今後の計画を問う。</p> <p>(1) 国、県の動向について</p> <p>ア 内閣府が公表した津波高の変化をどう考えるか。</p> <p>イ 県のサンドバイパス事業が遅れていることへの対処は。</p> <p>ウ 本市の津波シミュレーションが遅れている理由は。</p> <p>(2) 命を守る対策について</p> <p>ア 海拔5メートル以下を津波避難対象地域とする方針に変わりはないか。</p> <p>イ 浅羽南地区の避難場所の人数設定に課題はないか。</p> <p>ウ 10分・500メートル内に避難場所を整備する方針に変わりはないか。</p> <p>エ 不足している避難場所の整備計画は。</p> <p>オ 幼稚園の耐震性は大丈夫か。</p> <p>(3) 財産を守る対策について</p> <p>ア 幸浦プロジェクトの要望事項への見解は。</p> <p>イ 防風林の強化をどう考えるか。</p> <p>ウ 福田漁港、河川からの越水対策は。</p> <p>(4) 地域力低下への対応について</p> <p>ア 現状の進み具合で、地域力低下に歯止めがかかるか。</p> <p>イ 申請された南部地域の総合特区事業は地域振興になるか。</p> <p>ウ 海浜公園構想を地域づくりとして考えられないか。</p> <p>エ 市指定の緊急輸送路とは。</p>				

質問順序	7	議席番号	17	質問者	浅田二郎
質問事項・要旨（具体的な質問事項）					
<b>1</b>	<b>固定資産税について</b>				
	<p>課税ミスが報道されるなど、固定資産税の課税に対する信頼が失墜してきている。徹底した改善で、信頼回復が行政の基礎・基本である。</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>(1) 今回の課税ミスの内容と対応は。</li> <li>(2) 償還金の考え方は。</li> <li>(3) 再発防止策は。</li> <li>(4) 課税のための日常的な調査とその体制は。</li> <li>(5) 固定資産評価審査申出がなされ、認容された事案の問題点と対応・改善は。</li> </ol>				
<b>2</b>	<b>浅羽支所について</b>				
	<p>浅羽支所が「支所」の役割を果たしていない。権限と体制の強化で、南部副次核の拠点として、にぎわいと地域力の回復が必要である。</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>(1) 縮小に次ぐ縮小の支所の体制は。</li> <li>(2) 支所とはどういう役割を果たすのか。規定上適切ではないのでは。</li> <li>(3) 支所の実質的権限は。</li> <li>(4) 全般的事務権限と津波対策など、地域的課題に対する権限を支所に。</li> <li>(5) 浅羽地域審議会の役割と今後は。</li> </ol>				
<b>3</b>	<b>指定管理者制度について</b>				
	<p>国の指定管理者制度についての方針も、「経費の節減」を主目的としない方向に変化してきている。その基本的考え方を明確にし、見直しを求める。</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>(1) 地方自治法に指定管理者制度がどう規定されているのか。</li> <li>(2) 制度導入の状況は。</li> <li>(3) 2008年6月、2010年12月の国からの文書の意味は。</li> <li>(4) 市でもあらわれている具体的問題は。</li> <li>(5) 市の指定管理者制度の導入目的は問題では。</li> </ol>				

質問順序	8	議席番号	14	質問者	高木清隆
質問事項・要旨（具体的な質問事項）					
<b>1</b>	<p><b>公共施設長寿命化対策への取り組みについて</b></p> <p>高度経済成長期に集中投資した社会資本ストックが、今後急速に老朽化することを踏まえ、維持修繕、更新投資等の戦略的な維持管理を進める上で、公共施設再生計画基本方針と公共施設マネジメント（再生）白書、マスタープランを早急に策定すべきでは。</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>(1) 公共施設の現況を把握する台帳を、施設系・インフラ系・プラント系別に一元管理しているか。用途別の公共施設数と経過年数（5年単位）及び延べ床面積について</li> <li>(2) 定期点検結果のデータベース化を行っているか。</li> <li>(3) 維持修繕が必要な用途別公共施設数について</li> <li>(4) 公共施設長寿命化対策に取り組むに当たっての課題とは。</li> <li>(5) 今後の維持管理費用（概算）について</li> <li>(6) 公共施設再生に向けた方針と計画を策定し、市民に公表すべきと考えるが。</li> </ol>				
<b>2</b>	<p><b>自信と誇りを持って生きていく人間への育成への取り組みについて</b></p> <p>近年の大卒者は、中小企業への関心が高まってきている。このようなことから、社会人として、高い就業意欲や強い覚悟を持った“就業力”の高い人材の育成に取り組むことにより、地域産業を支える人づくりにつながると考えることから、主体的な生き方や、郷土への愛着を育む、小・中の9年間を通した一貫教育科目の設置が必要と考えるが。</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>(1) 小・中学校における一徳運動の成果と課題について</li> <li>(2) 目標を持ち、未来を生き抜くたくましい子どもの育成に向け、どのような取り組みをしているのか。 <ul style="list-style-type: none"> <li>自己育成・責任遂行能力の育成</li> <li>コミュニケーション・集団参画能力の育成</li> <li>文化的・地域貢献・将来設計能力の育成</li> </ul> </li> <li>(3) 小・中学校の9年間を通して、主体的な生き方を学ぶ、小・中一貫の独自科目を導入すべきと考えるが。</li> </ol>				
<b>3</b>	<p><b>市内小売業者への優先発注と受注機会の確保について</b></p> <p>行財政改革による市外の業者の入札参加により、地元の小売業者が納入する機会も奪われ、廃業を余儀なくされた業者もいる。このままいけば、地元の発展に寄与してきた中小の業者（小売業者も含み）がなくなる。受注機会の確保について特段の配慮が必要。</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>(1) 平成23年度の入札・随意契約等、市発注における市内業者の受注結果について</li> <li>(2) 平成23年度に受注した元請け業者からの市内業者への下請け、市内業者への工事資材等の発注状況について</li> </ol>				

質問順序	8	議席番号	14	質問者	高木清隆
質問事項・要旨（具体的な質問事項）					
	<p>(3) 袋井市における印刷、諸備品購入における地元業者への発注状況について</p> <p>(4) 学校給食センター運営に伴う需用費、賄材料費における地元業者の入札参加状況と受注率について</p> <p>(5) 地元業者、特に小売業者の育成・振興を図るためには、市外業者（卸売）に対し、国内産業を保護する目的で、輸入品に関税を課している保護関税的な対応をすべきと考えるが。</p>				

質問順序	9	議席番号	12	質問者	戸塚文彦
質問事項・要旨（具体的な質問事項）					
<b>1</b>	<b>地球温暖化対策について</b> 環境省では、地球温暖化対策として「ウォームシェア」「クールシェア」の自治体の取り組みを推進している。 (1) 節電対策や熱中症予防とともに、公共施設の活用や街の活性化にもつながるこの取り組みを検討する考えはあるのか伺う。				
<b>2</b>	<b>地震津波による安全確保対策</b> 東日本大震災では、津波により多数の消防団員や自治体職員が犠牲になった。退避ルールの確立周知が必要ではないか。 (1) 消防団員や自治体職員について、詳細な避難規定を設ける考えはあるか伺う。				
<b>3</b>	<b>資源持ち去り行為の対応について</b> 市内の資源ごみ・埋め立てごみ収集場所に出されたごみを、市で回収する前に第三者が勝手に持ち去る行為が多く発生している。 (1) 現在の対応について伺う。 (2) 今後の対応について伺う。 (3) 市条例改正により、罰則規定を設けていく考えはないか伺う。				
<b>4</b>	<b>幼保一体化について</b> 保育園の要望が高まる一方で、幼稚園の空きが広がっている。保育園の待機児童ゼロ対策は喫緊の課題である。 (1) 2歳児までは保育園で保育をし、3歳児以降は幼稚園で教育と延長保育を実施する保育園の機能を持っている幼稚園事業を実施したらどうか。 (2) (仮称) 笠原幼保園整備事業の方針について伺う。				
<b>5</b>	<b>学校給食について</b> (仮称) 新学校給食センターが今年9月供用開始となる。安心・安全な給食の提供が求められている。 (1) 個々の実状にあったアレルギー対応食の提供についての対応策を伺う。また、学校での対応策は。 (2) 地産地消の推進は、具体的にどう進めるのか。平成24年度の実績と平成25年度の取り組みについて伺う。				
<b>6</b>	<b>中央図書館構想について</b> 中央図書館構想策定事業として、平成26年度から構想策定を開始するとなっている。 (1) 今後、どのような図書館サービスを展開するか方向性を示していくとのことであるが、いつ頃までに構想をまとめるのか伺う。				

質問順序	10	議席番号	5	質問者	山田貴子
質問事項・要旨（具体的な質問事項）					
<b>1</b>	<b>防災（津波）減災対策</b>				
	<p>安心して生活できるために、浅羽南部の津波被害軽減対策を問う。</p> <p>(1) 津波被害軽減対策のためには、浅羽海岸の防潮堤のかさ上げ、または自転車道と農免道路の多重防御が必要と思うが、市の考えはいかがか。</p>				
<b>2</b>	<b>環境問題</b>				
	<p>悪臭問題はいまだ改善されていません。住みよい街づくりは、環境問題から取り組む必要性があります。</p> <p>(1) 環境問題として、どのように悪臭対策を考えているか。</p> <p>(2) 現在の対応策はどのようになっているのか。</p>				
<b>3</b>	<b>安全・安心</b>				
	<p>地域の安全安心は、犯罪がなく、起こさせないことが一番です。</p> <p>(1) 愛野駅前交番について、犯罪抑止力のため必要ですが、現在市は、県警察本部に対してどのように要望をされているのか。</p> <p>(2) 今後の見通しはいかがか。</p>				
<b>4</b>	<b>下水道問題</b>				
	<p>下水道を整備することにより、環境に配慮し、河川における自然を取り戻すことができ、水質環境の保全が図られます。</p> <p>(1) 市の現在までの下水道の整備状況はどのようになっているのか。</p> <p>(2) 現在事業計画区域（旧事業認可区域）となっている中で、未施工となっている地域については、今後どのように進めていくのか。</p> <p>(3) 事業計画区域（旧事業認可区域）の接続率はどのようになっているのか。また、接続についてどのように指導をされているのか。</p>				